

平成 30 年度

小規模多機能型居宅介護
「サービス評価」 公表資料



たきのーほーむ **福の神**

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 22 日 (17:30~20:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田・紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10 人	6 人		16 人

前回の改善計画	ご本人の思いを大切にしつつ、家族にきちんと説明し提案できる信頼関係を作る。 スタッフのコミュニケーションの力量を上げる努力をする。 初期支援の重要性をスタッフがきちんと理解し行動する。
前回の改善計画に対する取組み結果	初期支援においてアセスメントの大切さ・重要性を理解し行動しなければいけなかったが一部出来ていなかった時があり、また申し送りも不十分だった。 ミーティングをする時間のがうまく取れていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	11 人	4 人		16 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1 人	11 人	4 人		16 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1 人	10 人	5 人		16 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	12 人	3 人		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期の関わりでは、特に意識的にご本人に関わるように努めている。初めての所に不安がないかも気にかけている。 家族様に対して困りごとを受け止めるようにして一緒に考える 居心地の良い場所になるように努める。送迎時にほむでのご様子をお伝えする事を繰り返すことで信頼関係が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
他のスタッフや利用者が会話をしている姿を見て安心してしまい、自分自身の関わりが少なくなりました。利用開始までに利用者の情報の共有が出来ていなかった。情報の収集がスピーディに出来なかった業務に追われ関わる時間が持てなかった。情報やニーズを目にしても見るだけで終わってしまった時があった。大事な情報を忘れてしまった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご本人の思いを知る。不安なく過ごしていただけるように気遣う。利用開始前に必ずミーティングを行う事。参加できなかったスタッフには個別で申し送ること 家族等の不安に対しては受け止め一緒に考えることで信頼関係を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17 : 30 ~ 20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田、紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		11 人	5 人		16 人

前回の改善計画	本人との信頼関係を深める為の行動を振り返りスタッフ間でレベルアップに向けた実践を共有する。スタッフ一人一人が利用者にとって居心地の良い環境をつくるためにはどうしたら良いかを真剣に考えて行動する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ライフサポートワークを取り入れ自己実現に向けた支援を行っている。 どうしたら出来るかをスタッフ全員で考え取り組むようにしている。実践するためチームワークも不可欠で協力をしながら行っている。自己実現出来た時の利用者の表情や状態の変化を感じることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5 人	11 人		16 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7 人	8 人	1 人	16 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9 人	4 人	3 人	16 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		10 人	5 人	1 人	16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 自分が関わって気付いたこと、思ったことは申し送りや会議の場で話すようにしている。内容によっては直接担当者に伝え考察に繋げていく。日々の発言に対し深く考える努力をしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 長期的な目標は把握できていないため日々の行動に繋がらない。本人の思いより家族の強い意向で本人の思いが受け入れられていない。スタッフの連携がうまくいかない時がある。 利用者によって自分の気持ちが言える利用者に対して支援はできるが言葉に出来ない利用者に対しての支援は出来ているかわからない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 本を人の思いを少しでも家族に理解・協力を得られるようにする。支援はスタッフと協力しながら行っているがすぐに対応できない時もあるので理由を説明し理解して頂きその日のうちに対応する利用者一人一人のライフサポートワークはいつでも読めるように整備する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17 : 30 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田、紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10 人	4 人	2 人	16 人

前回の改善計画	全てのスタッフがチームの一員として真剣に本人と向き合う意識をもつ。スタッフが相互に認めあいながらなんでも話せようにする。「喜んでさせていただきます」の精神でケアの実践をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人の思いを大切に出来ることをして頂いている。 これまでの人生で培ってこられた得意とする力を伸ばす関わりを心がけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		5 人	11 人		16 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		11 人	5 人		16 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1 人	10 人	5 人		16 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1 人	11 人	3 人	1 人	16 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		11 人	4 人	1 人	16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の体調や気持ちに添って食事のタイミングや入浴が行われている。また、体調の変化や異常は申し送りやミーティングで伝達している。小さな変化への気付きも大切にしている。 訪問先で自分の判断に不安があるときは管理者・リーダーに確認している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の思いに～したいという時にすぐに応えられる時もあるが状況や判断がつかず支援に繋がっていない時があった。 本人に出来る力があるのに先走ってしまう時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 本人の声にならない声を気付けて言語化できるように日々の関わり、記録を大切にする。 本人にしてもらえるように“待つ心”を持つこと 本人に合わせた支援を心がけること
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17 : 30 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田、紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8 人	7 人	1 人	16 人

前回の改善計画	地域交流の機会が少ないスタッフにどんどん地域に出向いてケアを実践できるような体制を整える。地域のキーマン (町会長や民生委員等) を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症カフェ・介護予防のサロン等に利用者と一緒に参加している。また、地域の祭礼や盆踊りまちのふれあい祭りに参加している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8 人	8 人		16 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7 人	8 人	1 人	16 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5 人	10 人	1 人	16 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1 人	5 人	8 人	2 人	16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること カフェや地域との交流の機会に参加して地域の方々との橋渡しをしている 利用者との会話の中から好きな事、以前していたことを聞きだし把握に努めている。なじみの場所にも出かけている。訪問に行った際どのように生活しているか把握に努めている
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご自宅での様子は把握できない時がある 勤続年数が少ない為把握しきれていない。また、調べようとしない。 家族からの情報が少ない方や一人暮らしの方の情報は不足している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域資源の活用では少しづつではあるが行っている。しかし、十分に把握しきれていないところもあるので情報収集に努める。地域の力の活用 地域に出かけるスタッフは偏らないようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17 : 30 ~ 20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田・紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		12 人	4 人		16 人

前回の改善計画	会議を通じてスタッフが柔軟に考えて行動出来るように確認する。(柔軟性の強化) 地域交流に対してもっと行動範囲を広げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者一人一人のニーズに合わせるように心がけている。小規模多機能の臨機応変な対応をするようにする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		10 人	5 人	1 人	16 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		12 人	3 人	1 人	16 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		12 人	3 人	1 人	16 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		13 人	3 人		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の気づきがあれば相談・報告し支援をしている 本人の状態やニーズに合わせ具合の悪い時には、泊りの変更したり訪問回数を増やしたりするなど対応している。問題点などがある場合はどうしたら出来るかを考えている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外出は出来ているが地域資源を活用できていないと言えない 出入りが多く情報の見落としがある。 情報の共有が出来ていないためケアに繋がらない時がある (スタッフ一人ひとりの意識が足りない)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ニーズに基づく支援をする。事業所の都合でサービス提供はしないこと 訪問先や通所の際の小さい変化を見逃さないこと。スタッフは言葉にするように心がける。 柔軟な支援に繋がるようにスタッフ同士が協力する事。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17:30~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田、紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4 人	10 人	2 人	16 名

前回の改善計画	地域に弱いスタッフを個別に育成 研修や会議の実施と参加の励行 関係機関（病院や福祉用具）との会議や話し合いの結果をチームで共有する 自治体や地域包括支援センターのスタッフと顔なじみの関係を構築
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の活動やイベント（町内会行事、学校、PTA、婦人会、老人会、お寺の行事等）には積極的に参加している。地域とのつながりを大切にし、「福の神通信」は地域の関係機関へ利用者と一緒に直接出向いて配布している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1 人	2 人	4 人	9 人	16 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1 人	1 人	7 人	7 人	16 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1 人	8 人	5 人	2 人	16 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		10 人	6 人		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 災害時には地域の方々が避難して来られた。サービス機関との会議は行っている。 地域の活動（防災・搜索模擬訓練等）にも参加している。 地域住民への支援や小学校への活動にも参加している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外部で行われている会議には管理者の出席が多い 余喜地区以外での活動の情報が不足している。また、努力せず諦めているところがある 情報も少なく、家族からも要望されていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修や会議など特定の職種や管理者が参加していることが多い。現場の状況や会議の内容によっては同行する。 本人を中心としたネットワークが把握しきれていないため訪問先や家族から情報を得る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17 : 30 ~ 20 : 30)

7. 運営

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田・紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9 人	5 人	1 人	16 人

前回の改善計画
 情対応の研修を実施する。
 地域力が弱いスタッフは、まず自分の住んでいる地域の行事に参加・協力の実践を積む
 地域の方に顔を覚えていただく努力を自主的に行えるチームを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果
 苦情が出た時はすぐにミーティングを行い、これからどうしたら良いかを即座に考えている。
 どのように対処したらよいかを意見出し合った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1 人	6 人	7 人	2 人	16 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 人	9 人	4 人	2 人	16 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 人	7 人	5 人	3 人	16 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		6 人	8 人	2 人	16 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 事故や苦情は繰り返さないようにしている
 スタッフ一人ひとりの意見や力量は異なるがミーティングを通してニーズに近づけるように努めている
 情報の共有に心がけ不明な点があれば上司やスタッフに確認している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域との協働した取り組みは行っていない。
 家族にきちんと説明が出来ずに誤解を招いた
 スタッフ全員が苦情に対応できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 地域との関わりを積極的に持つこと。そして信頼関係を作る。地域に必要とされる事業所を目指す。
 地域の困りごとに対応する。
 スタッフ一人ひとりのレベルアップのため研修する。管理者・リーダーは一人ひとりの力量の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (17:30~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田、紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		12 人	2 人	2 人	16 人

前回の改善計画
 リスクマネジメントの研修の実施
 理解不足のスタッフに地域連絡会 (羽咋市サービス事業所連絡会等) への参加を励行する
 自己研鑽、キャリアアップの意識を持ち、積極的に資格取得スキルアップのための研修に参加する

前回の改善計画に対する取組み結果
 リスクマネジメントの外部研修に参加したスタッフによる内部の勉強会を行っている。
 毎週認知症の勉強会を行っている
 地域連絡会の研修には多くの職員が参加している。当法人では介護福祉士取得のため環境を整えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3 人	10 人	2 人	1 人	16 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3 人	9 人	1 人	3 人	16 人
③	地域連絡会に参加していますか	3 人	8 人	3 人	2 人	16 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 人	9 人	4 人	2 人	16 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 研修 (内外) は実施している。外部研修には参加できるように環境を作っている。
 研修は進んで参加している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 リスクマネジメントが出来ないスタッフには個別で指導しているがなかなか理解できていない
 頭で理解しても実際は出来ていない
 常に考えて行動していない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 新人教育の見直しにより計画に添った研修をする事
 認知症の勉強会で学んだことを実践。スタッフ一人ひとりが考えられるように確認しながらケアを行うこと。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 22 日 (17 : 30 ~ 20 : 30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	定免礼・横山・谷内・横田・北原・有馬・竹ヶ端・山岸・由川・定免恵・北出・柴田・紙田・神谷・山木・山田 以上 16 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	3 人	1 人	16 人

前回の改善計画	会議研修を通じて日頃のケアを反省しチームレベルの問題として取り組む。 スタッフ間で、利用者に対し不快を与える行為を相互に指摘しあえる関係を構築。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年 4 月よりぐるーぷほーむで身体拘束の適正化に向けた取り組みにより指針を作り、3 か月に一度たきの一スタッフも参加している。チェック表を活用している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	5 人	7 人	4 人		16 人
② 虐待は行われていない	9 人	7 人			16 人
③ プライバシーが守られている	5 人	9 人	2 人		16 人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		9 人	7 人		16 人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4 人	10 人	2 人		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 外部の虐待の研修に参加している。参加したスタッフは内部の勉強会を行っている トイレ・入浴の介助には同性の希望の方にはそのように配慮している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 言葉による「ちょっと待って下さい」などスピーチロックになるような言葉かけがあった。 日々の記録が開いたままでケアに入ることがある。 成年後見制度について勉強の必要がある (知らないスタッフが多いため) ついつい、馴れ合いな言葉かけをしてしまう時がある
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者の訴えにすぐに対応できない場合は理由を説明し理解して頂き後に対応する事 スピーチロック・ドラッグロック・フィジカルロックに気を付ける事。 成年後見制度の研修を行う 書類の管理。周りへの配慮を行うこと
---------------	--

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9	0	2
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	7	0	4
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	6
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	7

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見
よくわからないところがあった
何年もやっているのに未だわからないところもある。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
小規模らしいというが何をされているのかわからないところがある。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見
取り組まれたのか分からない。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

スタッフに計画の周知徹底をします。

【改善計画】※後日記入

利用者ひとり一人の自己実現に向けた取り組む事を目標とする。
そのためには各項目が出来なければならない。スタッフ会議等で9項目の内容を確認し振り返る時間を作る。小規模多機能の事業所として柔軟な対応をする。
活動報告はこまめにする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	10	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	11	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	10	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	10	1	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

No.4 の日中は鍵をかけていないことを説明した。
計画など目の見えるところに掲げる

【前回の改善計画】

ご家族や地域の方々がお困りの時だけでなく日頃から気軽に立ち寄っていただけるような温かい雰囲気を目指します。笑顔であいさつし、交流の機会を大切にします

→祭りや子供交流会など交流の場を設けている。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

NO.2 まちの認知症相談員の担当が変わったこととお知らせした。

【今回の改善計画】※後日記入

気軽に立ち寄ってもらえるように、地域交流会を開いて福の神を知ってもらう。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	5
1	職員はあいさつできていますか？	11	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	10	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	8	0	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	11	0	0

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>地域行事には積極的に参加をしている。</p> <p>町の総会に参加させていただいた時の声を紹介させていただきました。「施設じゃないような施設やね」「地域行事の当番を引き受けてくれてありがとう」などの声をいただいた事を伝えた。</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>すべての職員が、地域との関わりを大切にする視点を持ち、地域に出向いてケアを実践できるようになる。</p> <p>地域の方とスタッフが顔なじみになる →地域の方が昔から大切にしていることを一緒にさせて頂いている</p>
<p>【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>開かれた事業所を目指す。地域の行事に参加する。</p> <p>また、認知症カフェ・地域交流会などを通じて相談しやすい関係づくりをする。</p> <p>福の神は地域の一員として地域の伝統や文化を一緒につなげていきます。</p>

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	7
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	9	2	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	6
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	11	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	0	7

【上記5つのチェック項目に関する意見】

1・・・利用者と一緒に散歩しているのを見かけます。
民生委員の方に困っている方はいないかの確認をした

【前回の改善計画】

地域ケア会議の必要性和可能性を家族や地域の方にきちんと説明し、実施につなげていく。
→ 地域ケア会議は行われていないが地域と連携している

地域ケア会議を開くことでそれぞれの役割と本人支援に対する方向性を共有し、地域で支える仕組みを整える。

→ 本人に関わる人たちを巻き込みながら支援している

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

1・・・利用者と一緒に散歩しているのを見かけます。

4・・・民生委員の方と連絡を取っていますか？

【改善計画】※後日記入

今後は各利用者の町の民生委員の方々と情報共有できるように密に連絡をとる。
認知症になっても地域で暮らし続ける取り組みや認知症の理解への啓蒙活動する。
利用者ひとり一人今まで大切にしていたことなどつながりを継続できるよう地域の方々を巻き込みながら支援する

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	6
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	11	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	9	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

運営推進会議で話し合われたことをスタッフと共有しているか？

→スタッフ会議を通して共有していることを伝えた。

介護予防支援として→毎週金曜日にお楽しみ会さんがカフェを開催している。

【前回の改善計画】

スタッフ会議では、事例検討の時間を用意し、お年寄りが社会参加できるための前向きな意味での関わりや取組みをすべてのスタッフで共有します。

運営推進会議で話し合われた結果をすべてのスタッフで共有します。

→スタッフ会議を通して共有していることを伝えた。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

地域の困ったことがないか情報収集する。

事業所の行事などをメンバーの方々に協力していただけるよう声掛けする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	5
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5	2	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	8	0	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	8	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

4 わからないの答えが多い

→昨年の大雨や台風時に避難所として活用していただいた事を説明させていただきました

【前回の改善計画】

今年度まだ参加できていない地域での防災訓練にお年寄りと一緒に参加します。
日頃から、全てのスタッフが高い防災意識を持ち、訓練の積み重ねにより非常時に備えます。
→利用者と一緒に参加している

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

今回は出席できなかつたけど次回は是非出席したい

【改善計画】※後日記入

町の防災訓練は引き続き利用者と一緒に参加する。
避難訓練の計画は早めに立てて地域の方々にも参加してもらえようとする

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人弘和会	理事長 畝 和弘
事業所名	たきのぼ一む 福の神	代表者 管理者 北出 由美子

法人・事業所の特徴

- 1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。
- 2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。
- 3.認知症と言う病気の理解を深める為、外部の研修に出たり、内部で勉強会をしています。
- 4.認知症キヤラバンメントの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアについでの研修の講師をさせて頂きます。
- 5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って生き活きできる時間を大切にします。

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	2人	地域住民・地域団体	6人	利用者	0人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	6人	その他	0人	合計	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後1年間を通じて持続的に9項目が「できてきている」と言える実践をここでこそ小規模多機能らしさの実現と考え行動します。	ライフサポートワークを取り入れ自己実現に向けた支援を行っている。どうしたら出来るかをスタッフ全員で考え取り組むようにしている。自己実現できた時の利用者の表情や状態の変化を感じる事が出来た。	小規模らしいというが何をさされているのかわからないところがある。	利用者ひとり一人の自己実現に向けた取り組み事を目標とする。そのためには各項目が出来なければならぬ。スタッフ会議等で9項目の内容を確認し振り返る時間を作る。小規模多機能の事業所として柔軟に対応する。
B. 事業所のしつらえ・環境	ご家族や地域の方が、お困りの時だけではなく、日頃から気軽に立ち寄って頂けるような温かい雰囲気を目指します。笑顔でごあいさつし、交流の機会を大切にします。	祭りや子ども交流会の場を設けている。また、新しい取り組みとして運営推進会議のメンバーさんや地域の方々と交流できる催し物を H31.3～開始している。獲れた野菜など届けてくださっている地域の方もおいでます。	計画などは、目につくように掲げてみてはどうか？	気軽に立ち寄ってもらえるように、地域交流会を開いて福の神を知って頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	全ての職員が地域との関わりを大切にす視点をもち、地域に出向いてケアを実践出来るようになる。地域の方とスタッフが顔なじみの関係となる。	利用者と一緒に地域の行事に参加している。地域の一員として活動している。認知症カフェで相談もお受けしている。	「事業所も一緒に地域の行事の当番することをよく引き受けてくれた」「施設じゃないみたいや、ありがたい」のお礼の言葉を頂きました。	開かれた事業所を目指す。地域の行事に参加。また、認知症カフェ・地域交流会など通じて相談しやすい関係づくりをする。福の神は地域の一員として地域の伝統や文化を一緒につなげていきます。

<p>D. 地域に外向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域ケア会議の必要性と可能性を家族や地域の方にきちんと説明し実施につなげていく。 地域ケア会議を開くことで、それぞれの役割と本人支援に対する方向性を共有し、地域で支える仕組みを整える。</p>	<p>地域ケア会議は今回行われていないがその利用者をとりまく地域の方々に協力を頂き本人の暮らしを支えている。</p>	<p>利用者と一緒に散歩しているのを見かけます。 民生委員の方と連絡を取っていますか？</p>	<p>今後は利用者の地区の民生委員と情報の共有が出来るように連絡を密にする。 認知症になっても地域で暮らし続ける仕組みを考える。 利用者ひとり一人今ままで大切にしていたことなどつながり方を支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議で話し合われた結果(会議録)をすべてのスタッフで共有し、今後の事業運営に生かしていく。</p>	<p>介護予防日常生活支援総合事業の通所型サービスを地域の方々が毎週金曜日に行って下さっています。 運営推進会議で話し合われたことはスタッフ会議で共有している。</p>	<p>先日、中能登町役場の方々が来られ参加したときにメンバーみなさんが活発で感心されていたことを羽咋市の職員さんよりお話があった。</p>	<p>地域で困っている方々がいないか情報収集する。 事業所の行事などをメンバーの方々に協力を声掛けする。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>地域での防災訓練の開催情報を集め、お年寄りと一緒に参加します。 日頃から、全てのスタッフが高い防災意識を持ち、訓練の積み重ねにより非常時に備えます。</p>	<p>利用者と町の防災訓練に参加した。事業所の避難訓練に地域の方々も参加していただいた。</p>	<p>何をやってよいか？ 計画表（役割分担）などがあったらよいのではないか？</p>	<p>引き続き町の防災訓練は利用者と一緒に参加する。 避難訓練の計画は早めに立て地域の方々に参加してもらえらるようにする。</p>